

《2017年10月（通算254回）》

【日時】2017年10月20日（金）19：15～20：45 注）「お散歩ツアー」は18：30馬場駅集合

【会場】品川宿交流館 本宿お休み処（品川区北品川2-28-19）

【テーマ】東海道品川宿FCのスポーツを通じたゆたかなくらしづくり、まちづくり
～フットサルのチカラで、部活動の課題解決に取り組む～

【演者】竹中茂雄（東海道品川宿FC クラブマネージャー／
旧東海道品川宿周辺まちづくり協議事務局）

松村圭佑（東海道品川宿FC 監督）

【コーディネーター】岸卓巨（NPO法人サロン2002事務局）

【参加者（会員・メンバー）7名】

安藤裕一（株）GMSS ヒューマンラボ）、大河原誠二（桐窓サッカー倶楽部）、岸卓巨（日本スポーツ振興センター）、熊谷建志（FC城東）、中塚義実（筑波大学附属高校）、松下徹（公認会計士・税理士）、守屋俊英（世田谷区サッカー協会）

【参加者（未会員）17名】

大澤淳（なぎさの会）、萱原雅史（税理士）、河原典仁（中央電力）、岸弘之（FC西巣鴨03）、国島栄市（ビバ！サッカー研究会）、霜島剛（野毛印刷社）、田中姿子（品川区スポーツ協会）、田中義巳（街道文庫）、玉井（まちづくり協議会）、辻和之（東海道品川宿FC）、初野翼（東海道品川宿FC）、堀江新三（まちづくり協議会）、松村竜祐（東海道品川宿FC）、皆川宥子（日本女子大学）、守屋佐栄（無職）、和田フジコ（まちづくり協議会）、渡口（まちづくり協議会）

【参加者（未会員・中学生）3名】

泉田淘汰（東海道品川宿FC）、辻大飛（東海道品川宿FC）、平井柊（東海道品川宿FC）

【報告書作成者】竹中茂雄

【概要】

今回はいわゆる「おでかけサロン」。「お散歩＝品川宿のまちご案内ツアー」が開始。竹中氏が案内役となり新馬場駅から品川宿交流館まで、途中のお店にも数軒寄らせて頂きながら30分弱かけて散歩。到着した品川宿交流館には、地元町内会の方がすでに集まっている。

先ず竹中氏の物語。学生時代の仲間の多くが、上下関係や厳しい練習を理由に「好きなサッカーを辞めている」という事実を知り、なぜなんだ!?という疑問を持った大学生当時、自らを「チェアマン」と名乗り、「DUOリーグ」なる取り組みをしている高校の先生（编者注、中塚理事長のこと）を発見。さっそく会いに行き、自らの問題意識や、地域活動（自主運営のフットサル大会）について語ったところ、今も竹中氏の行動指針として生き続けるアドバイスをもらう。こうしてサロン2002との交流がはじまり、また多くの学びと経験、紆余曲折を経て、2016年4月、「東海道品川宿FC（一般社団法人東海道品川宿スポーツクラブ）」を設立し、品川区において本格的なクラブがはじまった。

ホームタウン東海道品川宿には、江戸時代、東海道第一の宿場町として栄えた宿場町としての気質や文化が受け継がれている。情緒あふれる住民がいる一方で、埋め立てた土地には高層マンションが立ち並び子どもたちの人口も増加している。この東京都の中でもユニークな地域で、地元の子どものため「しながわっこ」（江戸っ子ではない）のために、スポーツを通じてどんなことができるか常に考えてきた竹コーチ、松コーチ二人の熱い思いが、徐々に地元の人達にも受け入れられ、クラブがまちに根付いていく過程を語ってもらった。

東海道品川宿FCに所属する中学生3名も飛び入りで参加、それぞれが素敵な発言を残し、クラブと地域のゆたかな未来を占うものとなった。